未来響創®
IEで拓くモノづくりとサービスの新たな価値

間接生産性の業績に繋がる評価指標・KPI

『間接業務革新のためのABM・BSCの活用』

日　時／2025年1月31日（金）10:00～17:00
会　場／　東京・平河町近辺の会議室
受講料／　日本ＩＥ協会会員 39,600円
　　一般 52,800円
　日本生産性本部　賛助会員 46,200円
　（一名様につき　税込み・テキスト代込み）
※他地区ＩＥ協会の会員も会員価格となります。

講　師
㈱ＭＥマネジメントサービス
マネジメントコンサルタント・公認会計士
橋本　賢一　氏

業績に繋がる評価指標と測定で価値を生む間接業務に変革を

本社・技術・間接・事務部門などの間接費が肥大化する中で、間接業務はインプットより付加価値（アウトプット）の向上にウエイトを置かなければなりません。間接業務の生産性は測定自体（とくにアウトプットの評価）が難しかったのですが、ABC（活動基準原価計算）ABM（マネジメント）BSC（バランススコアカード）などの研究で測定が可能になりました。しかし、見える化されても十分に活用できない下記の実態があります。

・ＫＰＩの測定に勢力を使い、PLAN=DO=SEEのマネジメントに繋げられていない。
・見える化のネックプロセスに手を打ち、業績向上までフォローできていない。
・部門業績を測定するＫＰＩが事業業績に繋がらない。

本セミナーでは、これらの手法を活用した業績アップという目的志向の間接業務革新について、経験豊富なコンサルタントが実践的に解説します。「間接・サービス部門の原価管理」日刊工業新聞社刊を参照の上、ご参加いただくと一層効果的です。

演習用のWindows PCの準備を推奨します

【 プログラム 】

1. ABM(活動基準原価管理)で見える化
　1-1 間接業務を見えるようにする　－ 間接生産性には10倍の差がある －
　1-2 ABC・ABMとは何か　－ 活動基準原価計算と管理のねらい －
　1-3 間接費を作用する要因を知る　－ 階層ごとに異なる原価の作用因 －
　演習：見えるデータのとり方

2. 業務量調査から生産性向上余地の発見
　2-1 管理余地と改善余地の算定　－ 間接業務をどのように分けるか －
　2-2 間接業務の標準化　－ 業務内容の実態を調べてみる －
　2-3 間接費の管理余地　－ 管理余地はどれくらいあるか －
　2-4 間接費の改善余地　－ 間接業務はどれくらい改善できるか －

3. BSC(バランススコアカード)で業績評価
　3-1 事業戦略の展開から　－ 何が資源を価値あるものにするか －
　3-2 事業別から部門別の業績評価へ　－ 部門別業績評価の主体は「人」 －
　3-3 BSCの展開プロセス　－ 4つのフレームワークを展開 －
　3-4 経営資源の最適配分　－ 利益につながる仕事に資源配分 －

4. 部門業績・KPIを測ってみる(業務効率の向上)
　4-1 業績評価指標の選択と設計　－ ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽﾄﾞﾗｲﾊﾞｰとｺｽﾄﾄﾞﾗｲﾊﾞ －
　　演習：パフォーマンスドライバー問題
　　演習：コストドライバー問題
　4-2 間接生産性を測ってみる　－ 間接生産性が見えるようになる －
　4-3 利益が上がらないのには訳がある　－ 業務プロセスのネックに手を打つ －
　　演習：ホームページで受注を取る

5. 間接業務の生産性向上の実践
　5-1 間接5Sを生産性向上に繋げる　－ やさしい3Sの推進ができるか －
　5-2 間接業務を見えるようにする　－ 見える化にもレベルと順番がある －
　5-3 業務の標準化の進め方　－ 個人から組織で標準化を進める －
　5-4 業務改善とBPRの進め方　－ 価値ある仕事に改善する －
　5-5 間接業務の自動化とRPA　－ Robotic Process Automation －

- **講師紹介**
- ㈱ＭＥマネジメントサービス
- マネジメントコンサルタント・公認会計士　橋本　賢一　氏

公認会計士事務所を経て、日本能率協会コンサルティングに入り、原価革新や生産性向上のコンサルタントとして活躍。1985 年㈱MEマネジメントサービスを設立し、製造業を中心に、総合的コストダウンを展開し、企業の業績を革新するコンサルティング活動を中心に行う。日本国内のみならず、中国・タイ・韓国などの海外でもコンサルティング活動を中心に活躍中。

著書は『見える化でわかる限界利益と付加価値』『間接・サービス部門の原価管理』『見える化でわかる売り値と買い値』、『よくわかる「ムダとり」の本』共に日刊工業新聞社。『正しい意思決定のための経済性工学の本』、『よくわかる原価のしくみ』、『実践　原価計算』共に日本能率協会マネジメントセンターなど多数。

お申込み

ホームページからお申込みください

www.j-ie.com/seminar

以下ご記入の上、このまま FAX にてお申込みいただくこともできます

FAX 03-3511-4069

参加者および申込責任者が上記の「個人情報の取り扱いについて」に同意した上で申し込みます。

『間接業務革新のための ABM・BSC の活用』	CK25	2025 年 1 月 31 日

■貴社名　　■所在地　〒

	氏名	所属・役職	TEL/FAX	
申込責任者	フリガナ E-mail		TEL FAX	会場選択 どちらかに○
参加者 1	フリガナ E-mail		TEL 当日の連絡先	会場　ON LINE
参加者 2	フリガナ E-mail		TEL 当日の連絡先	会場　ON LINE
合計【　　】名		参加費【　　円】		

■キャンセル規定に関して■

申込受付け後、およそ開催日の 10 日前になりましたら、参加証（集合案内）、請求書を郵送いたします。正式受付後、参加予定者のご都合が悪く出席できない場合には、代理の方にご出席をお願いします。代理の方のご出席も不可能な場合は、下記の規定により、キャンセル料を申し受けます。

[(注)※キャンセルは、必ず E-mail、または、FAX にて、日本 IE 協会までご連絡下さい。]

・開催日の７日前～前々日(開催日初日を含まず起算)：参加費の５０％

・開催日の前日および当日：参加費の全額(料金のご返金はできません)

「個人情報保護の取り扱いについて」をご一読いただき、同意の上、ご記入ください。ご同意いただけましたら同意署名に印☑をお付けください。

☐　個人情報の取り扱いについて同意する。

【個人情報の取り扱いについて】　※日本ＩＥ協会と（公財）日本生産性本部は、2011 年４月に事業統合しました。

（公財）日本生産性本部・日本ＩＥ協会では、皆様の個人情報を以下のように取り扱います。下記の内容をご確認いただき、同意の上、日本ＩＥ協会のプログラムにお申込みいただきますようお願い申し上げます。なお、同意いただけない場合は、適切なサービスを受けられない場合がございます。同意いただいた後でも個別に不同意の表明をすることが可能です。

1．利用目的：①本プログラムに関する各種連絡、資料等の作成・配布、プログラム開催当日や講演者・事務局打ち合わせでの利用。
②日本ＩＥ協会が主催･実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内、および顧客分析･市場調査。
※上記以外の目的で個人情報を利用する場合、ご本人に個別に理由を説明し、同意を得た上で行うものといたします。

2．個人情報の第三者提供について：法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に提供することはありません。
但し、本プログラムを担当する講演者等に、名簿等を確認いただく場合があります。

3．業務委託について：本プログラムの運営にあたり、業務の一部を外部に委託する場合があります。委託先に対しては、参加者へのサービスに必要な個人情報だけを委託します。（公財）日本生産性本部の選定基準に基づき委託先を選定し、契約により個人情報の保護を徹底するとともに、委託先に対して適切な管理・監督を行います。

4．写真等の利用について：本プログラムでは撮影を行う場合があります。得られた情報や撮影した画像は、日本ＩＥ協会の広報宣伝活動に使用する場合があります。

5．皆様の権利：個人情報について、ご本人による開示請求・訂正・削除・利用停止等を求めることが可能です。
その際は、以下までご連絡ください。【連絡先】日本ＩＥ協会：03-3511-4062　　（公財）日本生産性本部　個人情報保護管理者　総務部長

申込み･問合わせ

日本インダストリアル・エンジニアリング協会
〒102-8643 東京都千代田区平河町 2-13-12
TEL 03-3511-4062　　FAX 03-3511-4069
E-mail　jiie@j-ie.com　　https://www.j-ie.com/

担当：
西村